

NIIGATA アートリンク2024

各館開催講座のご案内

※最新情報は各館HPやお電話にてご確認ください。

新潟県立、新潟市立の美術館4館の学芸員が講師を務める講座一覧です。
「美術に関する知識を深めたい」「作品や作家のことをよく知りたい!」
と思ったら、お気軽にご参加ください。

申込不要
聴講無料

新潟県立近代美術館

TEL 0258-28-4111
長岡市千秋3丁目278-14
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟県立万代島美術館

TEL 025-290-6655
新潟市中央区万代島5-1
朱鷺メッセ内 万代島ビル5階
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟市美術館

TEL 025-223-1622
新潟市中央区西大畑町5191-9
<http://www.ncam.jp/>
9月23日より2025年8月頃まで
施設改修工事のため休館

新潟市新津美術館

TEL 0250-25-1300
新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1
<https://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

開催日時	講座名／講師	講座内容	会場、定員など
9月28日(土)	モーリス・ドニの日本イメージ—魂の故郷へ	19世紀末パリの人々を夢中にさせた日本の美術は、若き日のドニの柔らかな感性を養い、先鋭な眼を育む土壌となりました。日本に関わりの深いドニの代表作を紹介し、ドニを魅了した日本のイメージを解き明かすことを試みます。	新潟県立近代美術館 講堂
			14:00～15:30
9月28日(土)	心躍る『オデュッセイア』の世界～西洋美術の作例から～	古代ギリシアの叙事詩『オデュッセイア』。トロイア戦争の英雄オデュッセウスが経験した10年におよぶ冒険譚です。この物語を描いた西洋美術の作例を、古代の陶器画から近代の油彩画、版画まで多彩にご紹介します。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
			13:30～15:00
10月19日(土)	魅力再発見 パリの色彩を描いた洋画家・竹谷富士雄	パリの香気たどよう瀟洒な色調で風景画を描き、人気を博した洋画家・竹谷富士雄(1907～1984、五泉市出身)。竹谷が若き日に師事した画家(林武、藤田嗣治等)やその作風の変遷に触れ、竹谷作品の魅力について紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
			14:00～15:30
10月26日(土)	美術家たちと「食」	今回の美術講座では、美術家と「食」に注目します。「食」の好みや思い出などには、作家の人となりを感じ取れたり、意外な一面を垣間見ること…。実り多き秋の時期、美術と食についてご紹介します。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
			13:30～15:00
10月31日(木)	海を渡った竹久夢二	大正ロマンを代表する画家・竹久夢二。彼は雑誌などで紹介された同時代の西洋美術について研究し、自身の作品に取り入れました。また、晩年にはアメリカで個展を開き、海外に挑戦しています。今回は夢二と海外にまつわるエピソードを紹介します。	クロスパルにいがた (新潟市中央公民館) 4階 映像ホール
			14:00～15:30
11月14日(木)	貝殻の美術	地域によっては貨幣のひとつとして用いられてきた貝殻。その一方で、装飾品として、絵画のモチーフとして幅広く美術作品のなかに取り入れられてきました。豊かな着想源である貝殻を出発点として、古今東西のアートに親しんでみませんか。	クロスパルにいがた (新潟市中央公民館) 4階 映像ホール
			14:00～15:30
11月30日(土)	新潟県内の現代建築を歩く	すばらしい建物には、だれもが驚きの声をあげます。建築散歩は、間口が広く、奥深く、健康にも良い(笑)という、こころ浮きたつ楽しみです。一般にはあまり知られていない県内の優品や珍品を厳選してご紹介します。	ほんぼーと (新潟市立中央図書館) 3階 多目的ホール
			14:00～15:30
12月14日(土)	北斎が描いた『北越奇談』の世界	江戸時代後期に刊行された『北越奇談』は、新潟に伝わる奇談・怪談を集めた読本作品です。人気絵師の葛飾北斎が挿絵を手がけたことでも知られています。鈴木牧之の『北越雪譜』とともに「越後二大奇書」と称される作品の世界を楽しみます。	ほんぼーと (新潟市立中央図書館) 3階 多目的ホール
			14:00～15:30

近代美	1月18日(土)	安宅安五郎と新潟	新潟市生まれの画家・安宅安五郎。越後と佐渡の各地をスケッチした《越後六拾景図》にふれながら、新潟を愛した、安宅の画業の一端を紹介します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	伊澤 朋美 (新潟県立万代島美術館 学芸員)		定員165名
新潟市美	1月25日(土)	障がい者アートいろいろ	新潟美術館の市民ギャラリーで開催する「あふれる思いふれる気持ち」は新潟市が障がいのある方の表現活動の調査を行い、それをもとにした展覧会です。その会期にあわせて、監修者である新潟市美術館の前山特任館長が、障がい者アートについて幅広くお話しします。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
	13:30～15:00	前山 裕司 (新潟市美術館 特任館長)		定員50名
新津美	2月8日(土)	絵本を展示するということ	毎年各地で開催される絵本にまつわる展覧会。その成り立ちやあゆみを振り返り、展示室で絵本をみるこの意味を考えます。あわせて、「絵本」の領域を拡張するかのように様々なアプローチを試みてきた作家・荒井良二の活動を紹介します。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
	13:30～15:00	大野 智世 (新潟市新津美術館 学芸員)		定員50名
近代美	2月22日(土)	アーカイブの構築に向けて： 亀倉雄策関連資料から見えてきたこと	装丁、パッケージから当時の記録写真、記事のスクラップまで、様々な資料が含まれている「亀倉雄策関連資料」。2007年度から少しずつ進めてきた調査・リスト化の作業とその成果についてご報告します。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	今井 有 (新潟県立近代美術館 学芸員)		定員165名
新津美	2月24日(月・ 振休)	作品としての新津美術館	1997年「従来美術品展示の枠を超える」ことを目指して開館した新津美術館。開館当初の特色ある事業や、建築の見どころなどを紹介します。企画展「共鳴、あるいは不協和音 新潟市美術館と新津美術館の両所蔵品による」の関連講座です。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
	13:30～15:00	上池 仁子 (新潟市新津美術館 学芸員)		定員50名
新潟市美	3月1日(土)	悲しき彫刻 —パブリックアートとはなにか	美術館という守られた空間ではなく、屋外に飛び出したパブリックアート。全国各地の芸術祭などで今も新たに増え続けている一方で、ある日突然姿を消すものもあります。華やかさの影にさまざまな理由で消えていった存在について、具体的な事例を通して考えます。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
	13:30～15:00	荒井 直美 (新潟市美術館 学芸員)		定員50名
近代美	3月1日(土)	奇想の画家入門 —又兵衛・若冲・ 蕭白	江戸時代に活躍した画家、岩佐又兵衛(1578～1650)、伊藤若冲(1716～1800)、曾我蕭白(1730～1781)。「奇想の画家」とも呼ばれる3人の代表作を取り上げ、それぞれの個性あふれる作品の魅力に迫ります。	新潟県立近代美術館 講堂
	14:00～15:30	飯島 沙耶子 (新潟県立近代美術館 学芸員)		定員165名
新津美	3月8日(土)	ロワールの古城からみるフランス王 家の歴史—プロワ城より	フランス最長の大河、ロワール川の流域には美しい古城が点在しています。本講座ではその中でも主としてプロワ城に着目し、ヴァロワ朝中期からその終焉、そしてブルボン朝成立に至るまで(15～16世紀)王家の歴史を辿ります。	新潟市新津美術館 レクチャールーム
	13:30～15:00	石月 裕子 (新潟市新津美術館 学芸員)		定員50名

新潟市美術館は9月23日(月)より2025年8月頃まで施設改修工事のため休館いたします。

そのため、講座も美術館以外の施設で実施されます。会場にご注意ください。

■クロスパルにいがた(新潟市中央公民館) 〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086

■ほんぼーと(新潟市立中央図書館) 〒950-0084 新潟市中央区明石2丁目1-10